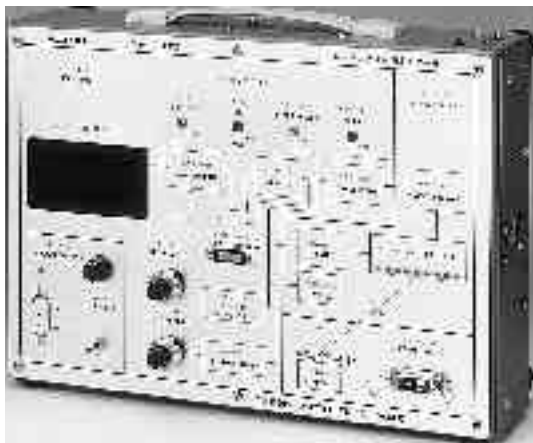




レーザ方式変位測定実習装置 ITF-205



22300-25-00

ITF-205は、半導体レーザとデジタルラインセンサを使用した三角測距方式による変位の測定法について原理から応用まで手軽に実習できるように、センサ部と本体（移動装置及びパネル面に各回路ブロック装備）部から構成された実習装置で、視覚的に動作が理解できます。

特長

パネル面に各回路ブロックがわかりやすく表示され、更に要所にチェック端子を設けてありますので、動作原理の理解が容易です。ラインセンサ部の位置表示に数個のLEDが装備されていますので、ターゲットの移動に対するセンサの受光位置関係が良く理解できます。光源に可視LD（半導体レーザ）を使用していますので、測定点が確認できます。

移動装置（ターゲット）が標準装備されていますので、オシロスコープ以外は機器を必要としません。

センサ部と移動装置は引出し部に装備されていますので、かさばらずに収納でき、紛失の心配がありません。

電源はAC100Vを供給するだけで、外部のDC電源は不要です。

実習内容

半導体レーザとデジタルラインセンサを使用した三角測距方式変位計の原理と応用の実習

性能

センサ部

光源.....可視LD670nm（半導体レーザ）  
出力1mW以下（クラス3A）

受光素子.....512bitデジタルラインセンサ  
分解能.....約20 μm

測定範囲.....±5mm（中心45mm）

移動ステージ

ストローク...約±10mm

本体（パネル）部

レーザ出力...可変可能

モニタ.....ラインセンサ部分：LEDランプ  
変位量：10進4桁デジタルパネルメータ  
スタート信号：チェック端子（TTLレベル）  
ビデオ信号：チェック端子  
変位データ信号：チェック端子（0～10V）

電源

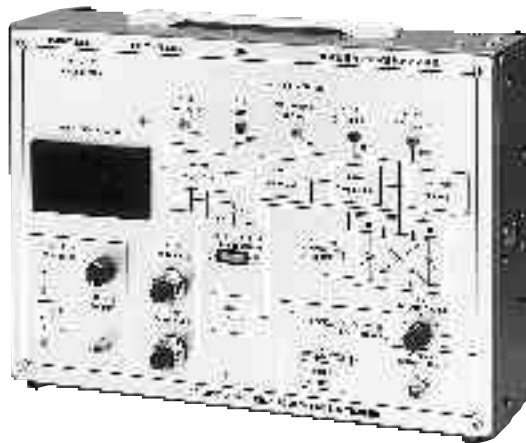
電圧.....AC100V（オプション117、200、217、234V）±10%  
50 / 60Hz

消費電力.....約12W

質量.....約6kg

大きさ.....約350W×83H×250L（mm）

静電容量方式変位測定実習装置 ITF-206



22300-26-00

ITF-206は、静電容量方式による変位の測定法について、原理から応用まで手軽に実習できるように、センサ（プローブ）部と本体（移動装置及びパネル面に各回路ブロックを装備）部から構成された実習装置で、視覚的に動作が理解できます。

特長

パネル面に各回路ブロックがわかりやすく表示され、更に要所にチェック端子を設けてありますので、動作原理の理解が容易です。変位の表示にデジタルパネルメータを使用していますので、変位量を直読できます。

移動装置（ターゲット）が標準装備されていますので、オシロスコープ以外は機器を必要としません。

センサ部と移動装置は引出し部に装備されていますので、かさばらずに収納でき、紛失の心配がありません。

電源はAC100Vを供給するだけで、外部のDC電源は不要です。

実習内容

静電容量方式による変位計の原理と応用の実習

性能

センサ（プローブ）部

分解能.....約5 μm

測定範囲.....約5±2.5mm

移動ステージ

感度.....約2V / mm

ストローク...約20mm（マイクロメータ）

モニタ.....変位量：10進4桁デジタル・パネルメータ

発振器：チェック端子

変位データ信号：チェック端子

バランス.....可変容量時で微調可能

電源

電圧.....AC100V（オプション117、200、217、234V）±10%  
50 / 60Hz

消費電力.....約10W

質量.....約4kg

大きさ.....約350W×83H×250L（mm）